

令和7・8年度 宮城県ヘリテージマネージャー養成講習会のご案内

ヘリテージマネージャーとは「地域に眠る歴史的文化遺産を発見し、保存し、活用し、まちづくりに活かす能力を持った人材」と定義されています。宮城県では、東日本大震災で多くの歴史的価値のある建造物が被害を受け、専門家の助言を受けることなく解体除却に至った事例が数多くあります。このような状況を受け、宮城県建築士会では平成25年からヘリテージマネージャー養成講習会を行い、昨年度までに52名の建築士がヘリテージマネージャーの認定を受けています。その後も令和3・4年の地震や台風被害により、再び多くの歴史的建造物が被害を受けており、専門家としてのヘリテージマネージャーの役割がこれまで以上に求められております。

これらの要請にこたえるためヘリテージマネージャー養成講習会を開催し、より魅力的なまちづくりに取組む人材を育成するものです。奮ってご参加下さい。

1. 主催：(一社)宮城県建築士会
2. 後援：(公社)日本建築士会連合会、宮城県 他(予定)
3. 期間：令和7年7月～令和8年12月
(R7年度は座学のみ、R8年度に演習ほか)



4. 会場：すべてオンライン (zoom)

5. 受講料：建築士会会員 35,000円 (税込)

会員外 50,000円 (税込)

単位受講 3,000円/回(税込)

受講料は下記にお振り込み願います。(振り込み手数料はご負担ください)

七十七銀行 県庁支店 普通預金 0108073 一般社団法人 宮城県建築士会

*単位受講の方は、受講希望日をお知らせください。

6. 受講資格：①一級建築士・二級建築士・木造建築士
②歴史的建造物の調査、修復保全、活用等に興味のある方
③行政機関職員、建築土木系大学及び専門学校学生
(②・③の受講生はヘリテージマネージャー修了証のみお渡しします)

7. 募集人数：20名程度

8. 講習内容：裏面カリキュラムの通り

*オンライン配信期間終了後、レポート提出で受講となります

9. 申込期間：令和7年6月16日(月)～7月18日(金)

10. 申込方法：下記の受講申込書に必要事項を記載し、申込先宛FAXまたはE-mailにてお送りください。

11. 申込み・問合せ先：(一社)宮城県建築士会

TEL：022-298-8037 / FAX：022-298-8038

E-mail：miyagishikai@kenchikushi.or.jp



QRコードからお申し込みの方はこちらから →

令和7・8年度 宮城県ヘリテージマネージャー養成講習会 受講申込書

氏名	フリガナ	生年月日	年 月 日	
連絡先	〒	E-mail：		
	TEL： FAX：			
	携帯電話	勤務先・学校名		
資格	注) 該当するものに <input type="checkbox"/> と○をつけて下さい。 <input type="checkbox"/> 建築士 (・一級 ・二級 ・木造) <input type="checkbox"/> 歴史的建造物の保全活用実績10年以上 ※実績調書(書式任意)を添付して下さい。 <input type="checkbox"/> 行政職員・教育機関学生等		会員所属団体	
			単位受講希望日	

令和6年度実施プログラム				令和7・8年度実施プログラム			
回数		講義内容	講師	録画	対面	WEB公開日時	レポート提出期限
1-1	総括指導	開校式:オリエンテーション 受講者の自己紹介・ヘリテージマネージャーとは	宮城県建築士会会長 佐藤幸吉		1	8月WEB開催	—
1-2	ヘリマネの基礎知識	文化財の登録とヘリマネ制度	山形大学工学部建築・デザイン学科 教授 永井康雄	2		8/22~9/11	9月22日
		歴史的建造物の構造形式ほか(歴史概要)	宮城県建築士会 高橋直子	1			
2	ヘリマネの基礎知識	宮城県の歴史と文化財の保存・整備・活用	仙台高等専門学校 総合工学科 建築デザインコース 教授 相模誓雄	2		9/12~10/2	10月14日
		宮城県・東北の伝統的な建築素材や生業	東北工業大学ライフデザイン学部 教授 大沼正寛	2			
3	ヘリマネの基礎知識	宮城県の文化財行政と概要	宮城県文化財課	2		10/3~23	11月4日
	建築修復の技法・工法	歴史的建造物の技法・工法(町家・民家等)	東北学院大学工学部環境建設工学科 准教授 崎山俊雄	2			
4	建築修復の技法・工法	歴史的建造物の保存修理の基本方針と計画 (難しいところ、悩みどころ等など)	宮城県建築士会 高橋直子	2		10/24~11/13	11月25日
		歴史的まちなみ	村田町教育委員会 伊藤則子	2			
5	演習・現場	修理工事事例 瓦葺き	高崎瓦店 代表 高崎稲雄	1		11/14~12/4	12月15日
		修理工事事例 左官	原田左官工業所 代表 原田正志	1			
		宮城県の伝統的な建築素材 スレート	信玄石盤工房 代表 佐々木信平	2			
6	建築修復の技法・工法	登録文化財調査・申請の流れ、ほか	東北工業大学建築学部 准教授 中村琢巳	2		12/5~25	1月13日
		歴史的建造物の耐震性と耐震補強	宮城県建築士会 菅井幸徳	2			
7	環境計画 (町づくり関係)	地域のお宝発見と受講生への課題について	東北工業大学建築学部 准教授 中村琢巳	2		1/5~25	2月2日
		文化財と防災	国立文化財機構文化財防災センター 文化財防災統括リーダー 小谷竜介	2			
8	ヘリマネの基礎知識	建築基準法と文化財保存	宮城県建築宅地課建築指導班	1		1/26~2/15	2月24日
	環境計画 (町づくり関係)	宮城県の景観行政と歴史的まちづくりの手法	宮城県建築士会 小林淑子	1			
	建築修復の技法・工法	歴史的建造物の耐震性と耐震補強	宮城県建築士会 菅井幸徳	2			
9	環境計画 (町づくり関係)	歴史的建造物の保存と活用 その1	秋田中央地区ヘリテージマネージャー 連絡会 事務局長(三浦館保存会) 田仲祐介	2		2/16~3/14	3月23日
		歴史的建造物の保存と活用 その2	宮城県建築士会 氏家清一	2			
10	演習・現場	実測調査演習・修理事例ほか			(8)	R8年度	—
11	演習・現場	文化財修理現場見学会			(4)	R8年度	—
12	演習	歴史的建造物の保存と活用 その3 グループミーティング(活用提案)			(6)	R8年度	—
13	演習・発表	登録文化財調査 地域のお宝成果発表と講評			(6)	R8年度	—
R7年度修了単位数・()はR8年度修了単位数				36	(24)		

*各回受講後、レポート(A4版800字程度)の提出をもって受講済みとします。